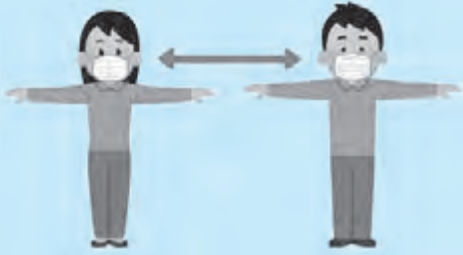


妹背牛町の明日を見据えて

今、できること するべきことを考える。



いまは距離をとって



しっかり手を洗おう



咳エチケットに気を付けて



換気をしよう



新北海道スタイル



3つの密を避けよう



テイクアウトや
デリバリーを活用



オンラインを上手に使おう

緊急事態宣言が解除された今でも、新型コロナウイルスによる影響は後を絶ちません。

そんななかでも、そんななかだからこそ、今できること、今するべきことを考えこの状況を乗り越えていきましょう。

妹背牛町の各施設、イベントへの 新型コロナウイルスによる主な影響

各施設などへの影響

妹背牛小学校・中学校

2月27日～春休みまで 休校

4月20日～5月31日 休校

総合体育館・トレーニングセンター

4月20日～5月31日 休館

妹背牛温泉ペペル

4月27日～5月22日 時間短縮営業

5月2日～5月6日 休業

中止になったイベントなど

もせうし遊歩市(7月)

もせうし夏まつり 豊年祈願焼肉祭り

商工会青年部女性部チャリティービールパーティ

敬老会 もせうし収穫感謝祭

今年の5月、全国へ向け緊急事態宣言が発令されました。妹背牛町でも、様々な「できないこと」が増えたことと思います。この全国的な変化によって各地でたくさんの方が影響がありました。外には人がいなくなり、イベントの中止により例年と違う少し寂しい夏が訪れました。

政府から「新しい生活様式」が提案され、会話時のマスク着用や毎朝の健康チェックなど、新型コロナウイルスと向き合いながら生活する日常が今後もしばらく続きます。第3波以降の波に備えて、しなければならぬことや、妹背牛町だからこそできることを探しながら、この状況を乗り越えましょう。

先、またその先を予測して

いまするべきことを・・・

妹背牛診療所では医師会の指導の下、様々な感染症対策を行っています。受付をビニールシートで区切り、常に院内を換気してスリッパ、椅子、手すりなどは1日に3回消毒。患者様にもなるべく間隔をあけて座るようお願いしています。職員はマスクの着用はもちろん、検温、手洗い、手指のアルコール消毒の徹底に加え、自身の体調や外出先を毎日つけています。

これから来る事が予想されるインフルエンザの流行時期が特に重要です。同時期に新型コロナウイルス感染症の第3波以降の波がくると大変なことになります。町民の皆さんにはぜひ、予防ワクチンを打っていただき、例年以上に感染予防に努めていただきたいと思います。

これからも先を予測し、様々な事態を想定しながら対策を講じていきたいと思っています。



医療法人英晃会妹背牛診療所

戸田 和則 院長



1日3回の消毒作業(左)



受付のビニールシート(右)



妹背牛町11区 農家

土田 大輔 さん



役場に寄贈された生花（左）、お盆に向けた花の収穫（右）

これからも作り続けていくことで 花の力をもっと感じてもらいたい

うちで作っている花のうち「ダリア」という品種は、結婚式など祝い事です。ですが緊急事態宣言が出てから現在でも結婚式などが開催しづらい状況が続いているため、需要が減少し価格が下がりました。また、飛行機の減便などの影響もあり、本州へ花を出荷できず町内では大きな痛みがあった方も多かったです。

これから本州で花が採れなくなり北海道の花の需要が高まる時期に入りま

すが、もしまた緊急事態宣言が出たらと思うと怖さもありますね。

今年は全国の花き業界の皆さんがSNSなどで例年以上に周知や広報活動をしてきました。花き生産組合妹背牛支部でも生花（せいかに）リレーとして役場に花を寄贈しました。

こんな世の中だからこそ花の持つ癒しの力をたくさんの人に感じてもらいたい。そのためにこれからも花を作り続けていきます。

活気ある賑やかな店内に戻るまで めげずにお店を開けていきます

3月に新型コロナウイルスについてテレビなどで報道されるようになり、宴会の予約数が大きく減りました。4月に緊急事態宣言が出てからはお店を開けておくことが厳しくなったのですが、そこで大々的に持ち帰りメニューを宣伝することにしました。

3月、4月といえれば卒業、入学シーズンで毎年賑わいますが、今年はお客様が入らずとても寂しかったです。5月下旬から店内の営業を再開しました。大人数での宴会などは今はまだしにくい状況ですが数人で来てくださる方が増えてきてとてもありがたいです。これから、また店内が賑やかになることを願いながらお店を開けていきたいと思っています。



お気楽厨房いっぴく

波多野 順子 さん



店内に消毒液を設置（左）、テーブルもこまめに消毒（右）